

防災・消防

防災

春は融雪による河川の氾濫、夏から秋にかけては局地的な大雨による土砂災害、冬は暴風雪・雪崩による雪害など、様々な災害が起こりうる地域であり、さらに、直下型の地震を引き起こすおそれのあるサロベツ断層帯を有し、災害に対する備えは、十分にしなければならない地域です。

また、東日本大震災の教訓として、住民の生命や財産を守るためには、公共施設の整備を進めるのみでは十分とは言えず、災害時に発生する被害を最小限に抑えるため、各種防災訓練を積み重ね、防災体制の充実を図るとともに、「宗谷防災講座」などの実施により地域住民の防災意識の向上に努めています。

その他、宗谷総合振興局内においては、気象警報時の非常配備体制の構築や「宗谷総合振興局管内雪害対策連絡会議」などを設置し、防災関係機関との防災情報の共有や事故防止のための啓発活動、防災対策の充実に向けた取組を進めています。

消防

平成29年（1～12月）の管内における火災発生状況は、発生件数25（前年より20件減）、損害額は約1億4千万円となっています。

管内の消防体制は3消防本部と9消防団で組織され、消防活動はもとより火災予防活動、救急救助活動、各種訓練等を精力的に行うことにより、住民の生命と財産を守っています。

※幌延町の消防署は北留萌消防組合に属し留萌振興局所管となりますので、被害発生件数及び損害額には含んでおりません

■管内の消防体制

H29.4.1現在

消防本部(署・支署)名	消防吏員	消防団員数
稚内地区消防事務組合	95	471
消防本部	7	—
稚内消防署	52	266
豊富支署	18	78
猿払支署	18	127
利尻礼文消防事務組合	51	382
消防本部	4	—
利尻消防署	16	117
利尻富士支署	17	122
礼文支署	14	143
南宗谷消防組合	70	337
消防本部	5	—
枝幸消防署	37	204
浜頓別支署	15	84
中頓別支署	13	49

宗谷総合振興局の非常配備体制について

宗谷管内に気象に関する警報が発令された場合など、初動体制を整え、関係機関との連絡・調整を行います。
災害が発生し、その対策を要する場合は、配備体制を強化します。

1. 各種気象警報が発令された場合
2. 大規模な事故・災害などが発生した場合

宗谷総合振興局管内雪害対策連絡会議

大雪、暴風雪等による災害時の関係機関との情報共有を図ることを目的とした組織です。管内の防災関係機関、交通機関などで構成され、次の事務を行います。

1. 雪害が発生、又は発生するおそれがある場合の情報収集
2. 各種関係機関との情報交換及び連絡等

宗谷防災講座

防災関係機関及び地元市町村との共催により、地域に根ざした身近な防災への取り組みを強化するため地元住民の方を対象に開催しています。

1. 防災知識を深め、自助・共助の意識を高めます
2. 受講者で希望される方には、「北海道地域防災マスター」に認定します



宗谷総合振興局防災訓練（風水害想定）



宗谷総合振興局管内雪害対策連絡会議

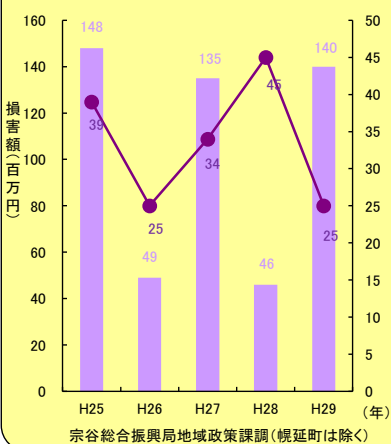


平成29年度宗谷防災講座



避難所運営ゲーム北海道版（D○はく）
講師養成研修会

■火災件数・損害額の推移



■出火原因(平成29年)

